

きょうと ふけいさつ
京都府警察の

ワークシート解答・解説編

動画はここだよ
5分28秒

さくら巡査と学ぶ

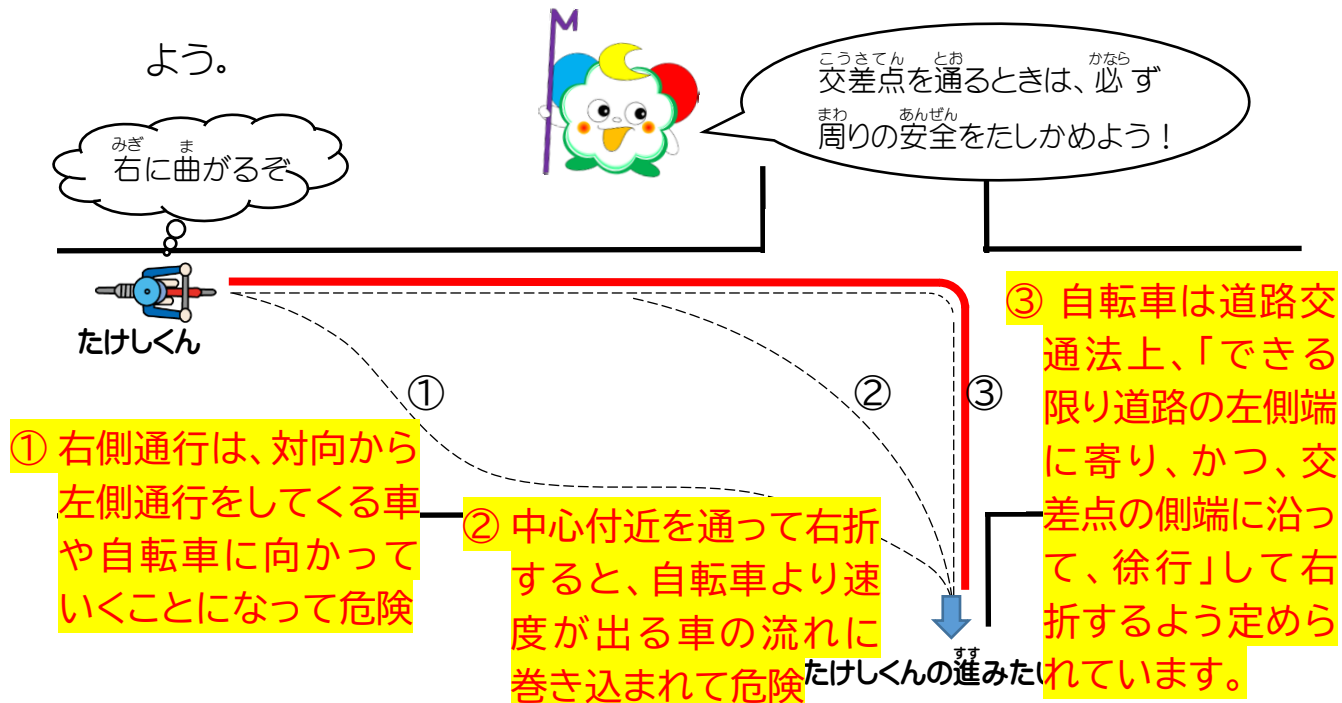
交通安全

各問、事例ごとのおさらいとして、関連付けて考えてみましょう。

自転車事故はなぜ起きたのか

ねらい：自転車の交通事故をふせぐために、守るべきことを考えよう。

事例① たけしくんが自転車で、安全に交差点を曲がるためには、どう走ればよかったかな。下の図の中で、交差点での正しい右折方法の点線をなぞってみよう。



事例② けいこさんは、交通事故をふせぐために、どうすればよかったのかな。

一時停止をして、周りの安全を確かめる

標識を守る 停止線で止まる

スピードを落として走る など

交差点では、飛び出しによる交通事故が多く発生しています。標識のある場所は、もちろん、見通しの悪い場所も、止まって安全確認をするよう指導しましょう。

事例③ 夕方や夜間に、自転車のライトをつけると、前を明るく照らしてくれるよね。

他の車や歩行者からの自転車の見え方は、ライトが「ついていない」ときと、「ついている」ときで、下の写真のようにちがうんだ。自転車を見つけやすいのはどちらかな。番号に○をつけよう。

ライトが「ついていない」とき



ライトが「ついている」とき



ライトの点灯により、進行方向を明るくするだけでなく、他者に自転車の存在を知らせることができます。暗くなる前に、必ずライトをつけましょう。

事例④ 音楽をききながら自転車を運転すると、

どうしてあぶないのかな。

車の音などが聞こえなくて、周りの状況に気が付かない

周囲への注意がおろそかになる

など



まとめ ()に言葉を入れて、安全な自転車の乗り方の説明をしよう。

- 1 自転車は車道の(左)側を走ろう。
- 2 左右が見えにくい交差点や、(一時停止 止まれ)の標しきのある交差点では、必ず(止まって)、周りの安全を確認しよう。
- 3 薄暗くなってきたら、必ず(ライト)をつけて走ろう。
- 4 音楽をきき(ながら)、電話をし(ながら)の運転はしない。



自転車にはどんなルールがあるか、おうちの方と話し合ってみよう。

～ 保護者のみなさまへ ～

小学生は、高学年になるにつれて、自転車での交通事故が増加する傾向にあります。自転車の走行速度も上がり、重大な交通事故の危険性も高まります。ルールだから守るという教え方にとどまらず、ルールを守らないとなぜ危険なのかということをご家庭でも一緒に考えてみてください。ヘルメット着用の重要性も、しっかり指導しましょう。

※ 冒頭のQRコードから、ワークシートの解説をご覧いただけますので、参考にしてください。

